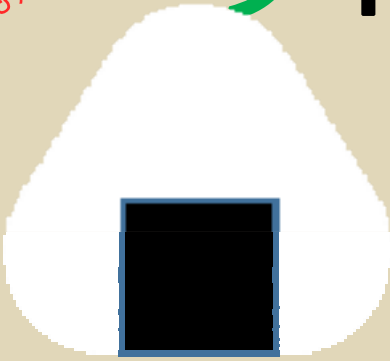


おにぎりとお茶
(いずれも無料)

ライスボールセミナー



大学ではどんな研究が行われているのだろうか？
思ったことはありませんか？
ライスボールセミナーは、お昼の休み時間に
“おにぎり”を食べながら、
若手研究者による研究発表を聞き、
自由にディスカッションを楽しむセミナーです。
どなたでも気軽にご参加いただけます！

時間：12：20～12：50 場所：B棟2F R-AGORA

第11回 12/5(火)

アントレプレナーシップ
への招待

講師：林 永周 (イム ヨンジュ)
経営学部 講師



アントレプレナーシップという言葉を知っていますか？起業家精神とも訳される場合もありますが、実はアントレプレナーシップは、起業するだけを指しているわけではありません。今回のセミナーでは、アントレプレナーシップの意味と教育・研究におけるテキストマイニングなどの定量的な分析結果についてご紹介いたします。

●研究分野：アントレプレナーシップ教育、
ビジネスモデル、事業開発

●研究の道に進んだきっかけ：

アントレプレナーシップとは、起業するためのものではなく、新しい価値を創造するためにチャレンジすることだと主張する論文に出会いました。アントレプレナーシップの学問的なアプローチに興味を持ち、多くの若者の心に、「アントレプレナーシップ」を印象づけたいという気持ちから研究の道に進みました。

第12回 【今年度最終回】

12/12(火)

「日本近代漢詩の創作
過程—論評・掲載・出
版について」

講師：余 筠珺 (シャ インクン)
立命館アジア・日本研究機構
専門研究員



明治・大正期に日本の漢詩は優れた成果をあげました。詩人たちはお互いの漢詩を評価し、漢詩雑誌に作品を発表していました。さらにその作品を自身の漢詩集として刊行しました。今回のセミナーでは、漢詩集の刊行に至るまでの過程について、お話をさせていただきます。

●研究分野：中国の宋の時代に流行した歌謡文学
「詞」の研究・日本近代漢詩

●研究の道に進んだきっかけ：

私は「詞」の美しさに魅了され、その美しさがどのように形作られ、またその歌詞を作った人物がどのような心情であったのかということに関心を抱くようになりました。日本での留学を経験した後、日本の漢詩についての研究を始めました。

2018年度のライスボールセミナーは、
来年4月頃告知予定です。お楽しみに！！

共催：OIC総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構
お問い合わせ：立命館大学 OICリサーチオフィス（張、岡本）
TEL：072-665-2570 Email：oicro@st.ritsume.ac.jp



R RITSUMEIKAN